

中国視察旅行

7月4～7日

(有)飛永製作所 飛永敏博

初日、台風の影響で上海の空港に着陸できず関西空港まで引き返すというハプニングもありましたが、

予定を2泊3日に変更し中国研修旅行に行ってきました。

空港に到着後、上海市内の日本企業を見学に行くバスの中からリニアモーターカーの建設風景や超高層ビルの建設現場が次々と目に飛び込んできました。このリニアモーターカーは試験設備ではなく営業運転するためのものであるとガイドさんから説明がありました。

「日本はテスト運転ばかりをしてなかなか実用化しませんね」

「中国ではまず、創るんですよ」

本当に大丈夫なのか？ という疑問はありましたが上海に到着早々、資本が集まって来ているという今の中国の勢いを感じました。

その後、日本企業の上海工場を見学させて頂きましたが、1社は日本の工場で稼動していた設備をそのまま移設して中国の安い労働力を使い日本と同じ品質の部品を大量生産。ものづくりの仕掛け(設備だけではなくて人を育てる仕掛けも含め)は全て日本から持ち込んでいるので当然といえば当然か。

もう1社は前工程から後工程まで一環して生産できる最新の設備を備え、今後の増産に対応できるスペースまで確保。

「お客様の近くで生産することが大事なんです」とその社長はおっしゃられましたが、その部品を使う組み立て工場は中国にあっても組み上げた「製品」を買うお客は日本にいる。

日本でもものづくりをしている自分達はどのような部分を強みとして生き残っていかなければならないのだろうかと考えてしまう。

大量生産で利益を生み出すという生産方式が中国にシフトした現状をこの目で見えてきた今、研修旅行に参加したメンバーが感じたことを共有できる場を是非持ちたいですね。

